市史講座第 6 回ミニレポート

12 月 10 日（土） 第 6 回 宍道湖の恵みと宍道湖漁業（講師：島根大学生物資源科学部教授 伊藤康宏先生）が開かれました。

伊藤先生は島根大学附属図書館所蔵の「出雲石見魚漁図解」（計 4 冊）と「因伯魚漁図解」（計 2 冊）の内容を中心に、近代化（動力化）以前の宍道湖漁業の実態やその歴史的な特徴を明らかにされました。

計 6 冊の「魚漁図解」は、山陰両県の 164 点の漁業が図と解によって説明されたもので、明治 14 年（1881）の第 2 回内国勧業博覧会に島根県から出品された「島根県管内漁具類集図」の草稿であること、そして、これらの「魚漁図解」はおよそ 130 年前（明治前期）の山陰漁業の実態を知る上で大変貴重な史料であるということを指摘されました。

また、伊藤先生からは、シジミカキなど「魚漁図解」所収の数点の漁業についての具体的な解説や、地域の漁業について「魚漁図解」以降に作成された島根県の漁業調査報告書などからの解説もありました。